

繪ハガキ競技會記事

八月二十七日第十五回開會、出品者客員會員合せて三十九人、出品數二百三枚、選評の結果左の如し

跡(意匠)

月(技術)

一等	鎌のあと	尾關春潮	田舎の月	瀧島寛水
二等	三脚のあと	山崎公平	樹の間の月	津雲孝
三等	門跡	大田南岳	林中の月	小林珠郎
四等	筆のあと	正親町公和	新家の月	荒木芳男
五等	古跡	小林華秋	山家の月	横田順三
六等	蟬の殻	津雲孝	船の月	山田全一
七等	齒のあと	野口六三	橋の月	野口六三
八等	鳥のあと	横田順三	里川の月	佐藤清
九等	紅のあと	鶴澤四丁	満月の月	鶴澤四丁
十等	眉のあと	松田竹嶼	海の月	巖谷小波
十一等	彈丸のあと	山田全一	夏の月	山崎公平
十二等	スタンプのあと	後藤百次	月の見	草大田南岳
十三等	ぬけ雀	西山英三	玉兎	倉永壽衣

意匠の一等は小楠公の故事にて極めて上品なりし、他に同案ありしも組立に不用意なりし爲め落選せり。二等三脚のあとよき思付といふべく、繪も拙ならず。五等の古瓦は國府寺のあとにや、七等の遊柿は面白かりし。他に佳作多かりしも、何れも後のあとにて選に洩れたり。

九月課題(横(意匠) 燈火(技術)山田主筆氏出題) 十月二十日夕切二十三目開會

意匠横は、横町、横顔、横綱など古ければ、面白き出來の外は入選覺束なし